

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者	安江 麻里				
使用教科書	東書「科学と人間生活」(生基 701)	副教材	ニューサポート科学と人間生活		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位×4 = 8 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位×3 = 6 枚			
期末試験	合格得点目標	20 点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	1 編 生命の科学 1 章 生物と光	○	○□		No.1	○	○	○	1 5
5	2 章 微生物とその利用 2 編 物質の化学 1 章 材料とその再利用	○	○□		No.1 5/12 No.2	○	○	○	2 5
6	2 章 衣料と食品	○□	○□		No.2 6/16 No.3	○	○	○	2 5
7		○□	○□		No.3 7/14	○	○	○	4
8	試験対策								
9	前期期末試験 テスト直し 3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用			○□		○	○		
10	2 章 熱の性質とその利用	○	○□		No.4 10/13 No.5	○	○	○	2 5
11	4 編 宇宙や地球の科学 1 章 身近な天体と太陽系における地球	○□	○□		No.5 11/10 No.6	○	○	○	2 4
12	2 章 身近な自然景観と自然災害	○□	○□		No.6 12/15	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)			○□		○	○		

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	科目	古典A	単位数	2 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	新編 古典A 東書		副教材		
スクーリング	必要出席時間数	2単位×1	= 2時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	2単位×3	= 6枚		
期末試験	合格得点目標	20点以上		考查範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方と関わる中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	古文入門 1年次からの総復習	○				○	○	○	3
5	伊勢物語『小野の雪』 敬語について、和歌の読解	○	○□		No.1 5/31	○	○	○	4
6	住吉物語 助詞の識別、係り結びについて	○□	○□		No.2 6/30	○	○	○	4
7	漢文入門 故事と寓話『孟母断機』ほか	○□	○□		No.3 7/15	○	○	○	3
8	試験対策								
9	前期期末試験 源氏物語／古文常識	○		○□		○	○	○	4
10	源氏物語『新春の六条院』ほか	○	○		No.4 10/15	○	○	○	4
11	平家物語『足摺』ほか	○□	○□		No. 5 11/15		○	○	2
12	項羽と劉邦 『良薬口苦』ほか	○□	○□		No.6 12/8	○	○	○	2
1	後期期末試験(3年)			○□					

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	国語	科目	国語表現	単位数	3 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	国語表現 東書	副教材			
スクーリング	必要出席時間数	3単位×1	= 3時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	3単位×3	= 9枚		
期末試験	合格得点目標	30点以上		考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	1 調べる〈情報収集の技術〉	○	○□		No.1、No.2	○	○	○	4
	2 取材する〈聞き取り取材による情報収集〉	○	○□		4/30	○	○	○	5
5	3 説明する 〈本のおもしろさを紹介する〉	○	○□		No.3 5/31	○	○	○	5
	4 まとめる 〈情報を整理して文章にまとめる〉	○□	○□		No.4 6/30	○	○	○	9
7	5 話す 〈メモをもとにしたスピーチ〉	○□	○□		No.5 7/15	○	○	○	10
	8 試験対策								
9	前期期末試験			○□	No.6	○	○		1
	8 発表する〈情報を整理して口頭で伝える〉	○	○□		9/30	○	○	○	6
10	9 討論する 〈主張の観点と根拠を考える〉	○	○□		No.7 10/31	○	○	○	8
	10 意見文を書く 〈構成を考える〉	○□	○□		No.8 11/30	○	○	○	9
12	11 小論文を書く 〈「考え方」を考える〉	○□	○□		No.9 12/8	○	○	○	9
	1 後期期末試験(3年)			○□					

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地理B	単位数	4 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	地理B 東書	副教材	使用しない		
スクーリング	必要出席時間数	4 単位 × 1	= 4 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	4 単位 × 3	= 12 枚		
期末試験	合格得点目標	20	点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。	現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。	地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1編 さまざまな地図と地理的 技能 第1章 地理情報の表現方法	○	○□		No. 1 4/30	○	○	○	10
5	第2編 現代世界の系統地理的 考察 第1章 自然環境	○	○□		No. 2, No. 3 5/31	○	○	○	10
6	第2章 産業と資源	○	○□		No. 4, No. 5 6/30	○	○	○	10
7	第3章 人口、都市・村落	○□	○□		No. 6 7/13	○	○	○	6
8									
9	前期期末試験 第3章 人口、都市・村落	○□	○□	○□	No. 7 9/29	○	○	○	6
10	第4章 生活文化、民族・宗教 第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域	○□	○□	○□	No. 8, No. 9 10/31	○	○	○	12
11	第2章 現代世界の諸地域	○□	○□		No. 10, 11 11/30	○	○	○	10
12	第3章 現代世界と日本	○□	○□		No. 12 12/14	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)		○□	○□		○	○	○	

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	新選 日本史B 東書	副教材	新選日本史Bワークノート		
スクーリング	必要出席時間数	4 単位 × 1	= 4 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	4 単位 × 3	= 12 枚		
期末試験	合格得点目標	20	点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。	各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。	歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (×切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1章「古代国家の形成と貴族文化の誕生」1節「原始社会の生活と文化」2節「農耕社会の形成と大陸文化の摂取」3節「律令国家の形成と古代文化の展開」	○	○□		No. 1 4/30	○	○	○	10
5	第4節「摂関政治と文化の和様化」	○	○□		No. 2, No. 3 5/31	○	○	○	10
6	第2章「武家社会の形成と生活文化のめばえ」1節「中世社会の成立」	○□	○□		No. 4, No. 5 6/30	○	○	○	10
7	3章「近世社会の形成と庶民文化の展開」1節「ヨーロッパ文化との接触と国内統一」2節「幕藩体制の成立」	○□	○□		No. 6 7/13	○	○	○	6
8									
9	前期期末試験 第3節「近世社会の発達と町人文化」 4節「幕藩体制の動揺と庶民文化の発達」		○□	○□	No. 7 9/29	○	○	○	6
10	第4章「近代国家の形成と国民文化の発展」 1節「開国から明治維新へ」 2節「立憲政治の形成と国民文化」		○□		No. 8, No. 9 10/31	○	○	○	12
11	3節「日本の近代化と東アジア」 4節「デモクラシーと第一次世界大戦」5節「激動する世界と日本」 第5章「現代の世界と日本」 1節「占領と国内改革」	○□	○□		No. 10, No. 11 11/30	○	○	○	10
12	2節「国際社会への復帰と高度経済成長」3節「石油ショックと低成長の時代」4節「新しい国際秩序と日本の課題」	○□	○□		No. 12 12/13	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)			○□		○	○	○	